

集落活動センター「まつばら」(栲原町)

拠点施設
情報

松原ふれあいセンター
(高岡郡栲原町松原572)
0889-66-0044



開設時期 平成25年1月12日

運営主体 集落活動センターまつばら推進委員会
株式会社まつばら

構成集落 大向、中平、上久保谷、下久保谷、松原、島中

人口・世帯数 185人、122世帯 (R8.2.28時点)

地域の自慢 四万十川最大の支流である栲原川の雄大な流れが作りだした絶景『八百とどろ』に抱かれた松原区。せせらぎに沿って歩くセラピーロードや澄んだ水を使ったどぶろくなど、四万十源流の恵みを感じられる場所です。

○ 地域のこれから

松原区は、支え合い助け合いながら地域の生活を守っていくために、住民が主体となって株主となり、株式会社を設立しました。
高齢化の中、同じことばかりを続けるわけにはいきません。若い力も借りながら、地域のための活動を維持していきます。

○ 主な活動内容

<ガソリンスタンド・直販所運営>

- 地区唯一のガソリンスタンドを引き継ぎ、生活に必要な燃料を確保するとともに、地域でお金が循環する仕組みを構築しています。
- 直販所『あいの里まつばら』では、朝採れ野菜や手作りお惣菜、栲原川産の鮎などを販売しているほか、週末限定で食堂も営業しています。

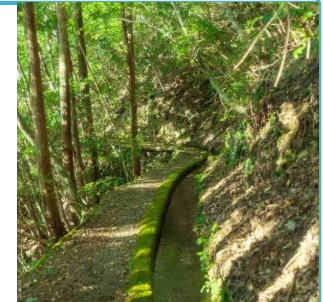


<八百とどろ(どぶろく)の製造・販売>

- 松原が誇る絶景「八百とどろ」の名前がついた濁り酒。四万十川源流域の水で育てた美味しい自家米を使ったどぶろくは、少し辛口で豊かな味わいです。
- 住民の方が1本1本丁寧に手作りしています。

<久保谷森林セラピーロード>

- 1923年頃に作られた水路沿いに行く、平坦で歩きやすいハイキングコースです。ふかふかしたコケの絨毯、落葉のクッションの道、泳いでいる魚が見えるほど澄んだ久保谷川、四季折々に咲く花、野鳥の鳴き声が楽しめる、せせらぎの小道です。
- 平成19年に森林セラピーロードの認定を受け、癒しの体験プログラムの開催や、地域住民がガイドとしてご案内を行っています。



○ 活動への思い

集落活動センターを設立したおかげで、高齢化の中でも地域を支えていけています。
活動を次世代に引き継ぐという課題はありますが、せっかく立ち上げたセンターなので、地域のために継続したいと思います。 久岡 國雄

